

2018 年春季研究発表大会のお知らせ

大会実行委員長 千葉工業大学 社会システム科学部
プロジェクトマネジメント学科 下田 篤

2018 年春季研究発表大会を開催致します。このたびは、我が国の科学技術基本計画に定められている Society 5.0 と P2M との関係を取り上げました。このテーマを掘り下げて議論するために、新研究会「P2M の新しい展開を検討する研究会」を立ち上げ、多面的に検討を行い、春の学会の場で議論を報告することになりました。

研究発表、基調講演、展望講演、研究会報告を通じて、プロジェクト・プログラム・マネジメントに携わる皆様の英知を結集する機会となりますよう、大会実行委員会一同準備を進めております。ご関心をお持ちの方にもぜひお声がけいただき、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

1. **開催日時**：2018 年 4 月 21 日（土）
9：30～17：40（予定）
2. **会場**：千葉工業大学
津田沼キャンパス
 - ・ JR 総武線／津田沼駅 《南口》 駅前
 - ・ 京成線／京成津田沼駅下車 《北口》
徒歩 10 分
 - ・ 新京成線／新津田沼駅下車 徒歩 3 分
3. **大会テーマ**
Society 5.0 における P2M の在り方
4. **大会趣旨**

Society 5.0 は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く第 5 段階の「超スマート社会」と位置付けられるものであり、具体的には、「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会のさまざまなニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられる社会」と定義されている。2015 年に、内閣府が設置する総合科学技術・イノベーション会議が第 5 期科学技術基本計画の中で、日本が世界に先駆けて実現すべき将来像として提言を行って以来、日本再興戦略「未来投資戦略 2017—Society5.0 の実現に向けた改革—」、日本経団連による提言「Society5.0 の実現による日本再興」など、我が国全体が Society 5.0 を実現する取り組みを加速している。

このような社会像は、フィジカル空間（現実世界）の大量データをサイバー空間上に集積し、高度な予測を行うことで生産性を飛躍的に高める、いわゆる第 4 次産業革命の取り組みを背景としている。海外で発信されたこうした産業分野の新たな取り組みに対して、産業分野だけでなく、我が国が抱える様々な社会的な課題、例えば、少子高齢化や地域社会の疲弊、大規模地震や火山噴火などの自然災害、エネルギー資源や食料の制約、などの解決を目指す取り組みだと解釈できる。課題先進国を標榜する我が国が目指す社会を実現することができれば、今後、世

界が直面する様々な課題の解決に寄与することができる。

しかし、実現への道のりには様々な困難が予想されている。例えば、目指す社会の実現のためには、多様なもの同士をつなげ、統合し、新たな価値を生み出すことが求められる。経済原理に基づく産業分野のみならず、様々な価値観を有する主体が集う経済・社会分野でこうした活動が求められる。こうした活動は、従来、我が国が苦手としてきた活動の一つであろう。一方、こうした活動はP2Mが目指すもの、そのものであるとも見なせる。本学会では、従来、様々な活動を束ね、新たな価値を生み出す方法論を議論し、実践例を共有して来た。本大会では、我が国全体が Society 5.0 を実現する取り組みを加速する中、P2Mの知見を持ち寄り、目指す社会を実現する方策を議論する場としたい。

5. 内容

午前の部

9:30~12:00 研究発表

12:00~13:00 昼休み

午後の部

13:00~13:10 会長挨拶

13:10~13:40 総会（発表奨励賞発表）

13:40~13:45 休憩

13:45~14:50 基調講演 秦 茂則 様
(NEDO 総務部部長)

14:50~15:50 吉田名誉会長 展望講演

15:50~16:00 休憩

16:00~16:20 新研究会発表

16:20~17:40 討論会

18:00~ 懇親会（発表奨励賞授与式）

6. 主催：(社) 国際 P2M 学会

7. 研究発表要旨締切：

2018年2月26日(月) 18時

研究論文締切：

2018年3月26日(月) 18時

※ 国際 P2M 学会ホームページ「お知らせ」にて、春季大会に関する情報を順次公開していきます。

<http://www.iap2m.org/>